

冬の寒さを忘れないで！

凍結による“水道管の破裂”や“漏水”を防止しましょう

気温がマイナス3℃以下になると、凍結のため水道管が破裂・漏水しやすくなります。

また、雪が降ると積雪により水道メータの検針ができず、漏水の発見が遅れることがあるため、あらかじめ対応を確認しておきましょう。

凍結防止対策

水道管の防寒具

- 凍りやすい水道管には、市販の保温材を巻きつけ、濡れないようビニールテープなどを隙間なく重ねて巻いてください。

その他の対策

- 夜間、水が糸を引く程度に蛇口を開けておきましょう。

※お風呂の浴槽などにためると、洗濯などにも有効利用することができます。

- 空家などで長期間水道を使用しない場合は、水道の「止水栓(元栓)」を閉じておきましょう。

※空家での凍結による漏水が、冬季間に多発しています。漏水の発見が遅れ、被害が拡大する可能性があります。

※長期間使用していなくても、水道使用中止の手続きをしない限り、基本料金がかかりますのでご注意ください。



凍りやすい水道管とは

- ・むき出しになっている
- ・家の北側にあり、日が当たらない
- ・風当たりの強いところにある



水が糸を引く程度

凍って水が出ないとき

蛇口などにタオルをかぶせ、ゆっくりとぬるま湯をかけて溶かします。急に熱い湯をかけると水道管や蛇口が破裂することがありますので、注意してください。



漏水の確認と対応

全ての水道の蛇口を閉めた状態で、水道メータのパイロットが回転している場合は、漏水の可能性があります。

速やかに、メータボックス内の「止水栓(元栓)」を閉め、市指定給水装置工事業者に修理(有料)を依頼してください。



※漏水修理後に「漏水修繕完了報告書」を提出することにより、漏水した上下水道料金の一部を減額できる場合があります。詳しくは、市ホームページ(☎1007651)をご覧ください。

- メータボックス周辺の除雪をするなど、検針へのご協力をお願いします。

積雪のため水道メータの検針ができない場合は、過去の使用実績により使用水量を推定して料金を算定し、次回の検針時に実際に検針した値で再計算し、過不足分を調整することになりますので、ご了承ください。

- 水道水を融雪に使用する場合、使った水量に応じて水道料金と下水道使用料がかかります。

融雪に一晩中使い続けると相当な水量になります。思わぬ高額料金の請求につながる恐れがありますので、使い方には十分にご注意ください。

※冬季の水道水は水温が低く、効果的な融雪ができない場合があります。

問い合わせ

▼漏水防止について

上下水道施設管理センター ☎432-8570

▼漏水修繕、上下水道料金について

上下水道局料金課(富山地域) ☎432-8513

東上下水道サービスセンター(大沢野・大山・細入地域) ☎467-5816

西上下水道サービスセンター(婦中・八尾・山田地域) ☎465-2164